

トアス株式会社 大崎事業所

トアス株式会社は、昭和30年に、地元栽培されていたアスパラガス缶詰にする、愛知県の誘致工場として設立されました。時代の流れとともに業態を変え、現在は、食品・飲料の受託製造を中心に行っています。大崎事業所の主要製品としては、ドライパック法と呼ばれる、高真空下で素材を蒸しあげる農産物缶詰があり、国内トップクラスの製造実績があります。

製品紹介



農産缶詰
2号缶、8号缶
K7缶、M2缶、他

ドライパック各種（大豆・ひじき
ミックスビーンズ・コーン他）
・大豆水煮・トマトなど



レトルトパウチ
50g～300g

ドライパック各種（大豆・ひじき
ミックスビーンズ・コーンなど）
・ぜんざい・大豆水煮など



缶飲料
160g～500g
窒素フロー
窒素充填可能

粒充填（粒入しるこ・粒入りコンボ
タ他）・高粘度品（甘酒・米麹・プロ
テイン他）・通常品（コーヒー・茶他）
など



スパウトパウチ
70g～300g
ホットパック充填
レトルト殺菌充填可

中性飲料（プロテイン・こしあん他）
果汁飲料・スポーツドリンクなど



スティックゼリー
三方シール
10g～40g

美容系ゼリー（コラーゲン・プラセン
タ他）
健康系ゼリー（乳酸菌・青汁他）など

高効率ボイラーの導入と蒸気配管への保温取付他によるエネルギー削減

導入前の課題

燃料使用量の削減と 放熱ロスの抑制

工場で使用する多量の蒸気を発生させるため、ボイラーで多量の燃料を消費。蒸気配管弁等の点検実施箇所の保温未取付による放熱ロスの発生。設備毎の電力使用量の管理は未実施。

導入後の効果

原油換算エネルギーで 年間120.5kLを削減

高効率ボイラーを導入し、保温未取付箇所に脱着式保温材を取付けた。エネルギー管理システム導入による「見える化」で省エネ意識の向上を図った。

受賞者の声

この度は、中部経済産業局長表彰という栄誉ある賞をいただきまして、従業員一同、大変喜んでおります。トアス株式会社では、各工場や部門の精鋭メンバーで環境管理委員会を構成し、毎月、省エネの取り組みや進捗について議論しております。平成23年に導入したエネルギー見える化システムにより、取り組みの成果がわかりやすくなり、より、やりがいを持って活動を進められるようになりました。今後も、この栄誉ある賞の受賞に恥じないように、一層省エネ活動に取り組んでまいります。



エネルギー管理統括者 岡本常務取締役

改善の理由

食品の加熱・殺菌などに多量の蒸気を使用する当社は、その蒸気を発生させるためにボイラーを稼働させ多量の重油を消費していた。また、蒸気供給配管の弁等の定期的に点検を実施する部位など、未保温箇所の放熱損失が懸念されたため、燃料使用量の削減に取り組んだ。

燃料使用量削減の他にボイラー補機等の設備毎の電力使用量が管理できていなかったため、消費エネルギーの「見える化」による省エネ意識の向上に取り組んだ。

改善の内容

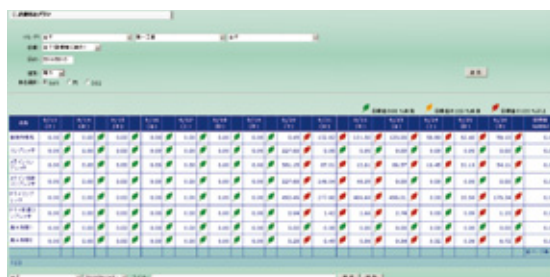
高効率ボイラーの導入とボイラー補機のインバーター化実施



保温未取付箇所への脱着式保温材等の取付



エネルギー管理システム導入による消費エネルギーの「見える化」



改善の効果

- ①高効率ボイラーの採用
- ②ボイラー補機のインバーター化
- ③脱着式保温材等取付

原油換算エネルギー削減量 23.6kL
 原油換算エネルギー削減量 17 kL
 原油換算エネルギー削減量 79.9kL

改善の評価

改善に要した投資額 (A)	改善による効果 (B)	償却期間 但し、金利は含まず(A/B)
① ② 38,209千円	3,237千円／年	11.80年
③ 4,275千円	5,388千円／年	0.79年